

令和8年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

小 論 文

初等教育教員養成課程
芸術・実技教育プログラム

注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔問〕 次の文章を読んで、（設問 1）及び（設問 2）について解答しなさい。

1964（昭和 39）年、東京都文京区の教育委員会は、区の重点として、「健康で豊かな人間性の育成」および「創造力の伸長」を指標として、「情操教育」^{（注釈 1）}「健康教育」「教育相談」「校内研修」の 4 つの柱を打ち出している。そして、文京区の指導室は情操教育の目標を以下のように示す。

「健康で豊かな人間性の育成」「創造力の伸長」という上述の指導を達成するためには、自然や文化的経験の蓄積の場を積極的に構成し、それらのよさに対して、敬けんな心情や憧れの念をもって探求する態度を養うとともに、児童・生徒の主体的な行動により創造的能力を高めるなどの指導をもって美的・知的・道徳的・宗教的等の価値追求への情緒感情を高めることが必要である。さらにこのためには、教師みずからの研修と、児童・生徒を十分に理解することが大切である。

（中略）

（東京都文京区教育委員会、『文京区教育概要 昭和 39 年度版』、p. 19.）

さらに、そのための具体的な方策として以下の 4 点を挙げる。

- 情操教育に対する教師の理解を深めるために、研修の機会を設け、教育の構造や各領域の指導の方法や技術に再検討を加え改善をはかる。
- 児童や生徒の発達段階に応じて、情操の陶冶^{（注釈 2）}を効果あらしめるように学校内の物的・心的な環境を整備改善する。
- 児童・生徒の個性をいかし、その創造的な能力を高めるよう努め、それらの自己表現活動の場として校内活動とともに、区連合の音楽会・図工展・学習発表会等を助成し、相互理解と向上をはかる。
- 児童や生徒が、自由にして活発な情操的な活動としての学校内外の環境の美化、生活面の改善などを助長する。

（同上、pp. 19-20.）

（中略）

〇〇小学校では、「素直で心の豊かな子ども」「丈夫で勉強好きな子ども」「助け合う子ども」「よく考えて実行する子ども」という教育目標を立て、情操教育は教育目標の重点というよりも、むしろ目標そのものであると捉えていた。

(中略)

また、情操教育の基盤にあるものとしての感動性、創造性があり、さらにその根底に自主性があると考え、「情操教育の本質は、児童のもっている感動性や創造性をひき出すことであり、その可能性を追求することであろう」と述べている。そして特に感動性を高めることにねらいをおいているとした上で、教科学習と情操教育との関係については、音楽や図工といった芸術教科に加え、すべての教育活動において行われるべきであるとする。

たとえば国語科においては、物語文の読解と詩の創作を通して児童の情操を高め、人格の全面的発達と、品性の向上をはかることがめざされており、算数科では、文章題などを自分の力で解決できたとき、子どもの心に感動が高まり情操が育てられ、体育科では、グループの協力、ゲームに勝てた喜び、技能の高まりなど、主体の感性を高めたり、感動の経験をたくさんさせたりすることが情操に通じるなどとして、全教科において情操教育を軸に授業研究がなされていた。

(注釈1) 情操教育とは、個人の感情や思考、価値観を養い、人間性を向上させることを目的とした教育のことをいう。具体的には他者への思いやりや共感、感受性、創造性などを育むことを指している。

(注釈2) 陶冶とは、もって生まれた人間の性質や才能を、円満に育てあげることという。

(〔引用文献〕、山本耕平 著、『音楽で「良い子」は育てられるのか ―「情操」から読み解く音楽教育史 一』、春秋社、2025年(発行)、pp. 90-93. 問題作成の都合上、引用の一部を改変している。)

(設問1) 課題文の中で、情操教育は、児童の教育にとってなぜ注目されているのか、その必要性がどのように表現されているか。80字以内で解答しなさい。

(設問2) 以下の設問2のA、Bのいずれか1つを選択し、400字以内で小論文を作成しなさい。(選択した設問2のAあるいはBの文字を解答紙に記入しなさい。)

設問2のA

あなたの得意とする小学校の実技教科(音楽、図画工作、体育、家庭)で、児童に対して感動や創造、他者への思いやりや共感を育むために、どのような教育や指導が可能であると考えますか。高校生の現在の知見で述べなさい。(あなたの小学校時代を回顧してもよいし、あなた自身の自由な発想や考えを表明してもよいこととします。)

設問2のB

小学校の教科にとらわれず、学校行事(合唱や合奏のクラスでの成果発表、芸術鑑賞会、学芸会、運動会など)や各種の課外活動、ものづくり、植物の栽培、小動物の飼育、調理や生活にかかわる小物づくり、その他によって、児童に対して感動や創造、他者への思いやりや共感を育むために、どのような教育や指導が可能であると考えますか。高校生の現在の知見で述べなさい。(あなたの小学校時代を回顧してもよいし、あなた自身の自由な発想や考えを表明してもよいこととします。)